

あなたの明るい毎日のために お役立てください

円錐角膜と ?言われたら

正しく理解していただくために



円錐角膜ってどんな病気？

治療方法はどんな方法があるの？

角膜移植は必要？ など



Contents

円錐角膜と言われたら

はじめに

「円錐角膜」と言われて、「それってどんな病気？」
と思われたのではないのでしょうか。

インターネットなどで調べると「視力の低下」「デス
メ膜破裂」「角膜移植」などの言葉が並んでいて、
不安になられたかもしれません。

実は円錐角膜といっても失明するような病気では
なく、角膜移植が必要となる症例もごくわずかで、
ほとんどの場合はハードコンタクトレンズで矯正が
できます。

円錐角膜についての正しい知識を持ってもらい、
専門医と一緒に、ご自分に合った治療法を
見つけられるようにと、この冊子を作りました。

あなたの明るい毎日のために、ぜひお役立てください。

円錐角膜って？

- ① どんな病気？ 1
- ② なぜなるの？ 2
- ③ 見え方は？ 3.4

視力矯正の方法は？

- ④ どんなレンズがいいの 5
- ⑤ どこで買えばいいの？ 6

治療方法は？

- ⑥ どんな方法があるの？ 7
- ⑦ 角膜移植は必要？ 8

Question?

まず知ろう!

円錐角膜 part 2 って?

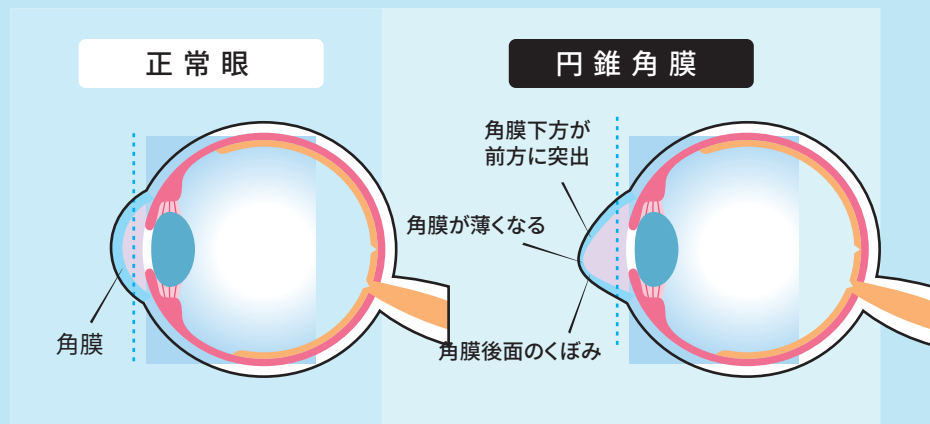


1

どんな病気?

A. 円錐角膜とは、角膜の中心やや下方部分が円錐状に突出してくる病気です。

一般に10代前半に発病し、多くの場合両眼性です。最初は物が少しぼやけて見えるくらいですが、やがて眼鏡では視力矯正が難しくなります。



日本では

発症頻度

350~400人に



近年の検査機器の
進歩に伴い

軽度の円錐角膜でも発見されやすくなってきました。

2

なぜなるの?

A. 原因は今のところはっきりしていません。

遺伝・アトピー・関節弛緩症・僧帽弁逸脱症候群・ダウン症候群・コンタクトレンズ装用などが原因ともいわれています。

特に

目をこすることで、突出しやすくなるとも考えられています。



最近では

ソフトコンタクトレンズ装用者に発症する円錐角膜が増えています。

遺伝について

日本では少ないと考えられてきましたが、診断技術の向上によって家族性の発症も少なくないことがわかってきました。

Question?

教えてほしい!

円錐角膜 part 2 って?



3 見え方は?

A. 物が何重にも見えたり、ゆがんで見えたりします。

初期の症状 物がぼやけて見えるといった程度です

進行すると 見え方のダブリやゆがみは強くなります



両眼の視力に差が出ることもあります

両眼の視力に差が出ることもあります。
明るいところでは まぶしさを強く感じたり、また暗いところでは大きく視力が低下したりします。

角膜の突出する部位によっては
初期の自覚症状がないこともあるので注意が必要です。



こんな時もあるはず

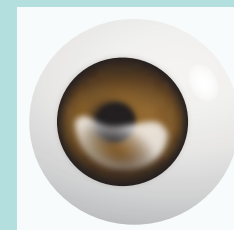
急に角膜が白く濁り
視界が曇って見えにくくなった!



必ず眼科を受診してください

最も考えられるのは、デスメ膜破裂（急性水腫）
といって、デスメ膜（角膜内側の膜）に亀裂が入り、そこから角膜内に眼球内部の水分（房水）が入り込む状態になっていることです。

眼科で適切な治療を行えば、
亀裂は自然にふさがり、角膜内から水分が出ていくようになるので、濁りは徐々に減少します。



急性水腫

Question?

まず知ろう!

視力矯正の方法は？



4 どんなレンズがいいの？

A. 原則としてハードコンタクトレンズを選択します。

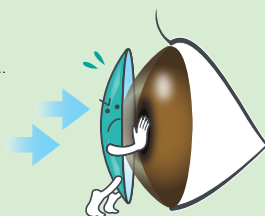


初期の円錐角膜の場合を除き、メガネやソフトコンタクトレンズでは矯正できません。

色々な技術や様々なレンズデザインを駆使すれば、異物感の少ないレンズの処方ができます。ハードコンタクトレンズ自体が痛くて装用できないということは、ほぼありません。

ハードコンタクトレンズを装用すると

見えるようになるだけでなく、症状の進行を遅らせる効果が期待されます。



症状が進んだ場合は

通常の球面ハードコンタクトレンズで合わなくなった場合は「円錐角膜用多段カーブハードコンタクトレンズ」があります。

それでも異物感が強い場合は、ソフトコンタクトレンズの上にハードコンタクトレンズを装用する(ピギーバック)場合もあります。

その他の矯正方法 ※

強膜レンズ	直径が大きく角膜全体を覆うハードコンタクトレンズ
ハイブリッドコンタクトレンズ	中央部ハードコンタクトレンズで周辺部はソフトコンタクトレンズで角膜全体を覆う

※ 日本では厚生労働省未承認医療機器のため、医師による個人輸入で使用されており、取扱い施設は限定されています。

5 どこで買えばいいの？

A. 価格だけで選ばず、専門医のいる眼科を受診してレンズを購入しましょう。

円錐角膜へのコンタクトレンズ処方是非常に高い技術が必要です。



処方技術が未熟なところでレンズを作ると、症状が悪化してしまうこともあります。

レンズの微妙な違いが見え方や装用感に大きく影響するため、専門医が技術を駆使しても、何度かレンズを交換しなければならないことや、レンズデザインの修正が必要なこともあります。

Question?

教えてほしい!

治療方法は??



6 どんな方法があるの?

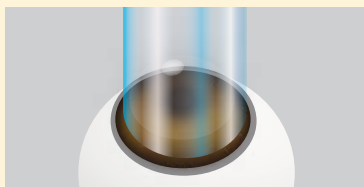
A. 眼科で検査を受けた上で専門医とよく相談してください。

コンタクトレンズに勝る矯正方法ではありませんが、進行を抑えるクロスリンクングや、角膜の形を変える角膜内リング挿入等の治療法もあります。

レーシックなどの近視矯正手術は円錐角膜には適応しません。

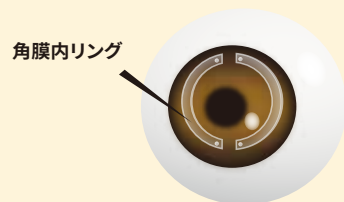
クロスリンクング

角膜にリボフラビン(ビタミンB2)を浸透させて、紫外線照射をすることで、角膜を変形しないように硬くする方法



角膜内リング挿入

角膜内にリング状のプラスチックを入れて、角膜の中央部分を平らにすることで屈折を変え、矯正する方法



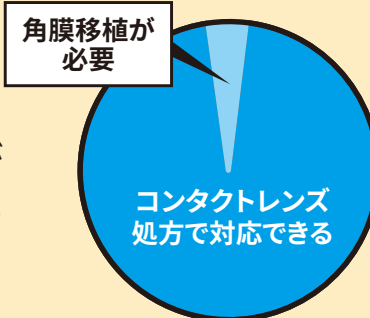
※これらの治療は健康保険適応外(自由診療)です

7 角膜移植は必要?

A. 円錐角膜で本当に角膜移植が必要なのは、全体の1~5%程度です。

角膜移植は

最後に選択する治療法です。ハードコンタクトレンズの処方がしっかりしていれば、角膜移植を受けなくても十分に日常生活を送ることができます。



コンタクトレンズの処方技術が進歩して

角膜移植を受ける人は減少しています

角膜移植を考える前に、円錐角膜に対するコンタクトレンズ処方の専門医に相談してください。

角膜移植にも、**続発性緑内障・拒絶反応**などの様々な合併症があります。

手術に成功しても、ハードコンタクトレンズを装用しなければ見えない人もたくさんいます。